

令和7年度三木若者ミーティング 「三木市がやっている事業をPRする映像を作ろう！」

「防災のまち三木市」

□グループ

三木市の（日本の）について（背景）

【地震等の自然災害が多く発生している】

- ・衛生、健康リスク
⇒トイレや排水設備のトラブルで不衛生になるケースが多い
- ・生活環境の過酷さ
⇒床が冷たい・固いことによる体への負担
- ・プライバシーの欠如
⇒個人の空間がほぼなく、ストレスを感じやすい

以上から、災害には様々な問題がある

PR（紹介）したい事業

自走式水洗トイレカー

<理由>

1. 災害時の「トイレ危機」を根本的に解決できる
2. 高齢者・女性・障がい者にも優しい「快適・安心なトイレ環境」を提供
3. 避難所の機能・衛生環境の向上に直結する
4. 見た目・装備が「災害対策の象徴」としてPRができる

伝えたいこと

市内・市外を問わず全ての老若男女

<理由>

1. トイレは「誰にとっても必要不可欠な生活インフラ」である
2. 誰もが災害時に要支援者となり得る可能性がある
3. 「快適なトイレ」は尊厳と心の平穏を守る
4. 地域全体の「防災力」は住民の全体の理解と協力で成り立つ
5. 災害はいつ、誰の身に起きるか分からぬ

映像について

コンセプト

- ・画像と音楽、字幕使ったイメージ映像

映像の長さ

60秒程度

【理由】

- ・短時間で伝えたい事を端的に
- ・記憶に残る印象的な一言を

工夫や参考
にしたこと

- ・インパクトに残るような一言を意識